

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
アドバンスレッスン2-a											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	Ryuta			実務経験	有	職種	ボイストレーナー				
授業概要											
1 年の時に習得したハリウッド式ボイストレーニング（Speech Level Singingで使われる発声理論）を用いて音域の拡大・音色の改善・声量の増強を行い、更にそのスキルを深めていく。また実際のライブなどで、呼吸法などを活かして歌唱できるよう実践に取り入れる。											
到達目標											
声の発せられるメカニズムの理解・自分の行うべき改善目標の具体化 ・具体化された目標を実際に到達させるためのトレーニングの日常化 ・隔週で個別に声の状態を確認し、常期的確なエクササイズの割り当てを目指す											
授業方法											
ハリウッド式ボイストレーニングで個人レッスンを中心に行っていく。毎週生徒を学籍番号順に当て、公開レッスン方式で行っていく。											
成績評価方法											
試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢											
履修上の注意											
個人差が大きいので、ヒアリングをしっかり行っうえでレッスンを進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	学生を数名選抜し、悩みなどをヒアリングした後、その解決法を考える										
第2回	母音の重要性について考える										
第3回	実際の曲中で母音について考え、また意識しながら歌う										
第4回	曲中での母音と子音の意識の持ち方の違い										
第5回	ボイストレーニングにおける音階練習										
第6回	音階練習（b 2 つまで）										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
アドバンスレッスン2-a	
第7回	音階練習（b 4 つまで）
第8回	b 4 つまでのスケール5つの発声音階練習
第9回	エクササイズの割り当て
第10回	トレーニングにおける音程音階を理解した上で適切な練習曲の選び方を理解する
第11回	任意の曲を正しい発声で歌う
第12回	音程をしっかりと理解した上で、正しい音程をとる練習
第13回	セミナー方式での選抜メンバー公開レッスン
第14回	semi-occludedエクササイズの音声学的な解説（リップバブル・ストローエクササイズなど）
第15回	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
アドバンスレッスン2-b											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	カニ			実務経験	有	職種	ボーカリスト				
授業概要											
ベーシックなボイストレーニングエクササイズの再確認をしながら、音程や音階の声による実践、習得に進み、リズムトレーニングやサイトシンギングの実践をし、シンガー／音楽家として必要な技術を習得すること。											
到達目標											
自分の歌声を自ら分析、考察、理解できるようになる。自分の声がどういった楽曲に向いているか、また歌いたい楽曲を歌うには自分の声をどのようにコントロールすればいいか、表情を付けるにあたってそれらをどうすればいいかを考えることで、実際の歌唱の場（ライブなど）で活かせるようにする。											
授業方法											
ストレッチ、カウントプレス、種々のリップロール、数字によるスケール訓練、ハミング、ハーモナイズ、フォニックスを使ったエクササイズ、クラップ／ストンプリズムエクササイズ、サイトシンギングなど。											
成績評価方法											
試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢											
履修上の注意											
この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。学習したエクササイズを授業以外でもレギュラーベースで復習実践すること。卒業した後、プロのシンガーとして必ず役に立つことばかりを教え、覚えてもらう授業になる。卒業後、財産となる授業内容であり、実践し体験し自分のものにしていくアクティブラーニング要素が強い授業内容。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	リズムパターンに合わせ体を動かし、歌えるようにする										
第2回	一定のリズムを感じながらの実践										
第3回	リズムが複雑になっても一定リズムを保って実践する										
第4回	譜面を見ながらの歌唱実践										
第5回	リズム譜を追うコツを覚える										
第6回	視唱に慣れていく 及びその方法、訓練法を習得する										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
アドバンスレッスン2-b	
第7回	アドリブを実践出来るようにする。
第8回	発声法を意識した歌唱実践
第9回	スケールを正しい音程で歌えるようにする
第10回	正しい音程で歌えるようにする
第11回	リズムパターンを制作し、歌えるようにする。
第12回	プロのシンガーについての理解
第13回	各自ワンコーラスずつ歌って確認
第14回	動画を見ながら各自の課題を振り返る
第15回	全体のまとめ

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
アドバンスレッスン2-c											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	塩谷達也			実務経験	有	職種	ボーカリスト				
授業概要											
1. 3人～5人の少人数から10人、100人単位の規模の大きな合唱曲まで実演できるようになる。 2. 他人の声部をちゃんと耳でとらえながら、正しい音程をとりながらハーモニーを作っていくことが出来るようになる。 3. 卒業後の職業として、コーラスの仕事も見据え、ハーモニーを自分で考え、またオブリガードやウーアーも付けられるようになる 4. 自身が中心に立ってコーラスの歌唱指導が出来るようになる											
到達目標											
1. アカペラで演奏できるようになる 2. 周りのハーモニーを聴きながら自身のメロディーラインをしっかりと聞き取れるようになる 3. ハモリラインを自ら考え実践できるようになる											
授業方法											
アカペラ・ゴスペルの既存の曲を歌う 邦楽、洋楽問わず、既存曲にオリジナルのハモを考えて歌う 基本的には耳で覚え、譜面上ではなく聴覚上でハモリを身につけていく											
成績評価方法											
試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢											
履修上の注意											
邦楽に偏らず、広く洋楽も取り入れ、グルーヴ感も身に着けていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	ハモリを知る1 《アカペラ》take me on 《ゴスペル》You are good										
第2回	ハモリを知る2 《アカペラ》take me on 《ゴスペル》You are good										
第3回	ハモリを知る3 《アカペラ》take me on 《ゴスペル》You are good										
第4回	ハモリを知る4 《アカペラ》take me on 《ゴスペル》You are good										
第5回	ハモリになれる5 《アカペラ》糸 《ゴスペル》My life is in your hand										
第6回	ハモリになれる6 《アカペラ》糸 《ゴスペル》My life is in your hand										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
アドバンスレッスン2-c	
第7回	ハモリになれる7 《アカペラ》糸 《ゴスペル》My life is in your hand
第8回	少人数で歌ってみる 復習 反復練習
第9回	ハモリになれる8 《アカペラ》ありがとう 《ゴスペル》微笑みは涙をこえる
第10回	ハモリになれる8 《アカペラ》ありがとう 《ゴスペル》微笑みは涙をこえる
第11回	ハモリになれる8 《アカペラ》ありがとう 《ゴスペル》微笑みは涙をこえる
第12回	ハモリになれる8 《アカペラ》ありがとう 《ゴスペル》微笑みは涙をこえる
第13回	少人数で歌ってみる 復習 反復練習
第14回	少人数で歌ってみる 復習 反復練習
第15回	後期の総括、まとめ

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
アドバンスレッスン2-d											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	尾崎久美子/Maliya/横山愛実/大山佳祐			実務経験	有	職種	ボーカリスト				
授業概要											
様々な楽器演奏者との合奏（アンサンブル）を通してそれぞれの個性や特性への理解を深め、ヴォーカリストとしての役割を理解し、表現者としての視点や考え方を体験の中から学び取る。普段は接する機会の少ない洋楽を積極的に取り入れて、邦楽では感じ取ることの出来ないリズムを実際に聴き、演奏することで体感する。											
到達目標											
レッスンやトレーニングを通して、自分の特性を理解し、環境に柔軟に対応できる技術力と応用力を身に付ける。バンドの中でマイクの使い方、正しい音程の取り方、モニターの方法等、様々な環境の中で対応していく感覚を養っていく。											
授業方法											
ドラム、ギター、ベース、キーボードなどの楽器との合奏（アンサンブル）を行う。英語と日本語の様々なジャンルを課題曲として演奏していく。											
成績評価方法											
試験・課題 成果発表 平常点	70% 20% 10%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 積極的な姿勢									
履修上の注意											
毎日の継続的な基礎トレーニングをする。様々なジャンルの音楽の鑑賞と研究をする。 日々の生活の中で言葉や歌詞に対しての興味を持ち、伝えるという事を考える。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	歌詞を理解する、 リズムを理解する										
第2回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる										
第3回	歌詞を理解する、 リズムを理解する										
第4回	メロディーを理解する、アンサンブルに対しての準備をする										
第5回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる										
第6回	歌詞を理解する、 リズムを理解する										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
アドバンスレッスン2-d	
第7回	メロディーを理解する、アンサンブルに対しての準備をする
第8回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる
第9回	歌詞を理解する、リズムを理解する
第10回	メロディーを理解する、アンサンブルに対しての準備をする
第11回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる
第12回	歌詞を理解する、リズムを理解する
第13回	メロディーを理解する、アンサンブルに対しての準備をする
第14回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる
第15回	フロントマンとしてのパフォーマンスができる